

令和3年度 企業立地港湾部長マニフェスト(総括)

企業立地港湾部長

大崎 健司

【基本方針】

企業立地港湾部では、市内経済活性化に向けて産業振興及び再生可能エネルギーの導入促進に取り組み、企業誘致、キャリア教育の充実及び久慈港の利活用促進などによる雇用の場の創出と若い世代の地元定着を進めます。また、脱炭素社会構築を目指し、洋上風力発電導入検討や久慈地域エネルギー(株)と連携してエネルギーの地産地消を推進するなど、再生可能エネルギーの導入に取り組みます。

【重点目標】

1. 若者定着を促進するための魅力ある産業のまちづくりの推進

達成状況

達成

○内容

■ 地元企業と連携し、学校・企業・行政が一体で「地域ぐるみ」によるキャリア教育の推進を図るため、キャリア教育担当者・事業所担当者研修会(7月)、合同職業講演会「キャリアオーケストラ」(10月:オンライン開催)、合同職業体験「社会体験Week」(11月)を実施します。また、市内企業の大卒人材等確保に向けた情報共有会を年6回開催するとともに、必要に応じ個別企業に寄り添い伴走型の支援を行い、市内企業にKターン就職しやすく、若者が地元で定着できるような魅力ある産業づくりに努めます。これらの取組を通じて、「久慈管内新規高卒者の管内就職率」の向上(R1実績42.8%→R3目標43.8%)を目指します。【コロナ影響】

●取組結果

- コロナ禍の影響を考慮し、昨年度同様「キャリアオーケストラ」(10月)をオンライン開催(市内中学校8校2年生290人、講師企業25社)とし、また、関連事業である合同社会体験をやむなく中止としましたが、キャリア教育担当教員及び講師企業を対象に事前研修会(7月)を行い、生徒の事前学習が深まり、企業担当者のプレゼン力も高まるなど、研修成果を十分に生かし、生徒目線で事業を実施しました。
- 若者人材確保については、大卒等人材の採用意欲のある企業、雇用関係団体との情報交換会を6回開催(参加16事業所)し、専門知識を有するコンサルタント会社による人材の確保・育成・定着に係る課題等の個別フォローアップを併せて実施し、大卒等人材の採用活動等を円滑に行うため、希望事業所と共に大学等訪問ツアーを実施しました(参加7事業所、訪問先6校)。

【実績等】

- 「久慈管内新規高卒者の管内就職率」
➤ (R1実績42.8%→R3見込(1月末公表分)44.8%)

2. 雇用の場の確保に向けた企業誘致等の推進

達成状況

達成

○内容

■ 企業誘致や新增設の支援、既立地企業のフォローアップによる雇用環境の向上に努め、久慈地区拠点工業団地に企業集積が進むよう岩手県土地開発公社と連携を図り、市内に起業・立地する事業者への支援制度である「起業・立地奨励補助金」の制度活用(R1実績0件→R3目標1件)がなされるよう取り組みます。

●取組結果

- 久慈地区拠点工業団地の利活用促進に向け、当市に新規進出、業務拡大等を検討する事業者等と交渉を行っており、引き続き、企業誘致活動に取り組みます。
- 高度人材育成事業(H28～R2年度)によりIT関連産業人材を育成したIT関連事業者が令和4年1月に中心市街地内に事業所を開設しました。

【実績等】

「起業・立地奨励補助金」決定件数1件

3. 再生可能エネルギーの導入促進

達成状況

達成

○内容

■ 市が資本参加する久慈地域エネルギー(株)と連携し、エネルギーの地産地消を推進します。久慈市沖における洋上風力発電事業が2030年に運用開始となることを目標とし、令和2年度末に作成したゾーニングマップを基に令和5年度まで環境省委託事業による久慈市沖の基礎調査を行い、併せて海域の先行利用者である漁業者等との合意形成に努めます。また、将来の事業化に向けて、再エネ海域利用法※に基づく国による「促進区域指定」の早期実現に向け、久慈市沖浮体式洋上風力発電検討委員会による協議(3回)を進めます。

●取組結果

- エネルギーの地産地消について、久慈地域エネルギー(株)と定期的に情報共有会を開催しました。
- 2050年カーボンニュートラルに資する取組として、再生可能エネルギー導入を促進するに当たり、将来の久慈市沖洋上風力発電事業の実現を目指しております。実現に向けた専門家及び関係機関等の意見集約を図るため、久慈市浮体式洋上風力発電検討委員会を開催しました。
- 引き続き、久慈市沖の基礎調査業務を継続し、再エネ海域利用法に基づく、「有望な区域」指定を目指し、情報収集及び関係者協議を行います。

【実績等】

- 浮体式洋上風力発電検討委員会開催3回
- 再エネ海域利用法に基づく「一定の準備段階に進んでいる区域」指定 令和3年9月

4. 久慈港の整備促進

達成状況

達成

○内容

■ 国の直轄事業により整備が進められている久慈港湾口防波堤(全体延長3,800m、令和10年度完成予定)の整備が着実に進むよう(R1実績2,575m→R3目標2,855m)関係省庁に対し要望活動(2回)を行います。また、湾口防波堤整備により創出される静穏海域を活用した産業が促進されるよう、庁内関係部署等と利活用策について検討を行い、2030年に久慈市沖洋上風力発電事業が運用開始されることを見据え、洋上風力発電産業の拠点港湾として久慈港が指定されるよう関係機関等との協議を進めます。

●取組結果

- 津波被害から市民の生命と財産を守るため、令和10年度に完成が予定される、久慈港湾口防波堤の確実な予算確保と着実な整備について、関係省庁に対する要望を実施しました。
- なお、昨年12月に完成予定が令和15年度となる旨公表されており、引き続き、要望を継続します。
- 久慈港が洋上風力発電の拠点港湾として、基地港湾の指定を受けられるよう、岩手県港湾計画の改定や港湾の使用について、国、県及び関係団体等との情報交換を行いました。

【実績等】

- 省庁要望活動2回(8月、11月)

※【コロナ影響】…新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予想される目標